

部活動などの活躍

《女子ソフトテニス部》

第6回 SRIXON杯 荒川区中学校ソフトテニス冬季研修大会

女子団体I部 準優勝

《あらかわ小論文コンテスト》

佳作入選



文化・芸術面でも南千住第二中は多くの表彰を受けています。くわしくは中面にて紹介しております。

校内書き初め展 入賞者

一年生

金賞

銀賞

銅賞

二年生

金賞

銀賞

銅賞

三年生

金賞

銀賞

銅賞

この中から、特に優れた作品として、〇〇〇〇さん(1-1)と〇〇〇〇さん(2-3)の作品2点が都展に出品されました。



南千住の史跡・文化財 最終回

『ドナウ広場』

南千住駅東口前の赤いレンガが敷き詰められた広場が「ドナウ広場」と名付けられていることをご存じでしょうか。またその広場に続く道路は「ドナウ通り」と名付けられています。南千住再開発地域への入口とあつて、いつも賑わいを見せている場所です。「ドナウ」は、あの有名なドナウ川のドナウです。なぜ南千住にドナウの名称があるのでしょうか。



ドナウの頭(右)
命名記念モニュメント(左)

南千住マイスターのコーナー

ドナウ広場には、両区の永遠の友好を願って、「ドナウの調べ」と名付けられたブロンズ像が設置され、広場は人々の憩いの場となっています。「ドナウの調べ」像の下には、「荒川区とドナウシュタット区の永遠の友好を願って」との碑文もありません。また、「ドナウ広場命名記念モニュメント」も設置されています。ドナウシュタット区の道路にも「荒川通り」や「東京通り」という愛称がつけられ、「東京通り」沿いの建物には、「荒川区と友達」と題するモザイク壁画がつけられています。



南千住は国際交流の象徴となる場所にもなっているのです。



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成29年3月
第72号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニークン

ワサビの花より ハスの花になろう

校長 齊藤 進

冬が終わりを告げ、春の訪れを感じさせる頃になるとワサビは山間(やまあい)の澄んだ雪解け水の中で、美しく白い小さな花を咲かせます。しかし、そんな美しいワサビの花もいったん水が濁ったりするとすぐに枯れてしまいます。ハスの花はどうでしょう。上野不忍の池などに見られるように、とても澄んでいるとはいえない水の中で、実に美しい花を咲かせます。しかも自分だけでなく、周りに根を広げながら次々と見事な花を咲かせていきます。



皆さんは今までに、家庭、学校、友達など自分を取り巻く環境を嘆いたり、どうしてこんなに不幸なのだろうと思ったことはないでしょうか。何不自由なく育った人はワサビの花のように順風な人生を送るかも知れません。しかし、逆境という濁った水に出会うとくじけやすく弱いことも事実です。例えどんな不幸な環境の中に身を置こうとも濁った水の中で育つハスの花のようにたくましく生きてほしいと思います。ハスの花のすばらしさは、自分ばかりか周囲にも美しい花を咲かせることです。皆さんも自ら輝やく太陽のような、しかもあの人があると元気をもらえと思われるようプラス思考を大切に生きてほしいと思います。

平成28年度も残すところあとわずかとなりました。間もなく卒業式を迎えます。3年生は卒業までの一日一日を大切にたくさん思い出が残るよう学校生活を送りましょう。

1・2年生は、この一年間で学校生活を通して一人ひとりが南二中生として立派に成長しています。しかし、中にはまだ「小さな大人」になりきれていない生徒がいるかも知れません。「たくましい人」を目指して日々の成長を期待します。

4月に新入生を迎えますが、3年生が残してくれた大きな財産を生かし、上級生として 新入生のよき手本となって様々な場面でリーダーシップを発揮してほしいと思います。

学年の締めくくりを美しい形で終わることができるよう、
有終の美を飾りましょう。



2年生 鎌倉遠足

2月17日(金)、2年生の校外学習「鎌倉遠足」が行われました。関東地方に春一番が吹いたこの日は、鎌倉も暖かな南風に包まれて、散策の足どりも軽やかに進み、古都・鎌倉の歴史と文化を学習してきました。

今回の校外学習のスローガンは、「周りに気を配り、緊張感を持って、修学旅行につなげよう」でした。これは、5月に行われる修学旅行の練習として、先生の付き添いなしで1日を班ごとに自由行動することを目標にしたものでした。第一のチェックは朝の集合。全班が朝の待ち合わせ時間に遅れることなく揃いました。その後、南千住駅でチケットを受けとり、修学旅行の集合場所となる東京駅を經由して、北鎌倉や鎌倉駅に向かいました。現地では、事前に自分たちで計画を立てたコースに沿って鎌倉を巡っていきました。



鶴岡八幡宮や円覚寺や建長寺、鎌倉大仏のある高德院などの神社仏閣をはじめ源氏山公園周辺のハイキングコース、金運成就で有名な銭洗い弁天など、班ごとに江ノ電や路線バスを利用したり、歩いて目的地を目指しました。鶴岡八幡宮では、事前学習で学んだ“実朝が暗殺された大銀杏”“静御前が舞ったという舞殿”などを実際に見て学ぶことができました。また、神職の方をたくさん見ることができた幸運な班もありました。鎌倉大仏の前では、大きさに圧倒され、思わず歓声が上がりそうになっても、神社仏閣を見学するときのマナーを思い出し、静かに見学できました。ほかの見学地も班ごとにたいへん充実した学習になっていました。昼食も自分たちで計画したお店で食べました。名物のしらす丼、人気のパンケーキ、鎌倉でとれた山菜入りの蕎麦…などメニューもさまざまでした。

最終チェックは鎌倉駅で行われました。大きく遅れる班もなく、小町通りなどで買ったお土産を手に全員元気に鎌倉駅を後にしました。今回の鎌倉遠足で、鎌倉の歴史と文化を存分に楽しみ学ぶことができました。そして、自分たちで計画し行動するという修学旅行へつながる体験ができた1日でした。

いざ、鎌倉へ！



今、南二ではサングラスがブーム！3年生のページで探してね。

ご協力ありがとうございました

平成28年度学校関係者評価のまとめ

平成28年度 学校関係者評価における自己評価

荒川区立南千住第二中学校

No.	設 問	肯定% (昨年度)	学校の自己評価(考察)
1	教育目標・方針 「教育目標方針が具体的に定まってる」	96% (96%)	教育目標「たくましく人がかなり定着している。さらに実感できる教育活動を進めていきたい。
2	生徒の様子 「明るく楽しく生活している学校生活」	93% (97%)	昨年度に比べ肯定的意見が微減するも、今年度も落ち着いた雰囲気の中で、生徒が健全な学校生活を送っていることが高い評価を受けている。
3	基本的な生活習慣 「生徒の服装・生活態度がよいと評している」	90% (94%)	ほぼ目標を達成できているが、保護者・教職員はより向上を目指せると考えている。基本的な生活習慣をより身につけさせるよう工夫したい。
4	生徒理解 「良き姿勢を見つけて励まし指導してほしい」	85% (88%)	生徒を励まし支援していることが評価されているが、20%強の生徒が不十分と感じている。全生徒に目を配り、生徒理解に努めたい。
5	健康・安全・安心 「安全確保、主体的に行動できる環境づくり」	94% (97%)	レスキュー部の活動や避難訓練・安全指導が定着し成果があがっていると考えられる。生徒の意識も大変高い。さらなる向上を目指したい。
6	分かる授業 「ましく分かりやすい授業が行われている」	86% (89%)	肯定的意見が多いが、保護者の評価が低めで「わからない」もやや多い。今年度以上に授業のようすを知ってもらう工夫をする必要がある。
7	個に応じた指導 「学習態度・理解度に応じた学習指導」	87% (88%)	習熟度別授業等、一定の成果をあげているが、指導方法の改善やクラス分けの工夫等、さらに効果的な方法を具体化していく必要がある。
8	学習習慣 「自主学習・家庭学習習慣・学習意欲を高める工夫」	70% (70%)	生徒の評価が低い。寺子屋事業の自習教室を多くの生徒に広げることや学校としての家庭学習課題の明確化など、家庭と協力し推進していく。
9	情報教育 「ICT機器利用・情報活用能力育成」	75% (94%)	生徒増によるPC整備の遅れや不具合が多発し利用しづらかった事が評価低下の1つの要因であると考えられる。環境整備が必要である。
10	学校図書館の活用 「読書学習に役立つ学校図書館利用」	67% (72%)	「図書館を利用した調べる学習」などで高い評価を受けているが、生徒の評価が低い。全生徒が実感できる図書館運営を目指す。
11	人権教育 「自己を大切に尊重し差別なく人権感覚を育てる」	91% (93%)	今後も普段からの教育活動全般において人権感覚を育てていくとともに、いじめ等の早期発見やそれに対処するシステムを強固にしていく。
12	道徳教育 「生き生きとした道徳教育を推進する」	78% (92%)	教育活動全体で道徳性の向上を進めているが生徒の評価が低い。資料等を活用した道徳の時間を要とした道徳教育を推進・充実させていく。
13	教育相談 「教育相談窓口が不十分でない」	73% (88%)	細やかに教育相談を進めているが生徒の評価が低い。生徒数増加に伴い不安を抱える生徒を見落とすことがないように、相談体制を強化したい。
14	人間関係づくり 「学校行事・体験活動を通して人間関係構築」	95% (95%)	諸行事を通じ、充実した体験活動が定着してきている。今後もさらに内容を工夫し、全生徒が所属感をもてるような教育活動を推進する。
15	自治的な活動 「学校活動・生徒会活動等、主体的な活動」	91% (93%)	生徒会活動を中心とした自治活動が定着しつつある。開わりを実感できない生徒に所属感・成就感をもたせるさらなる工夫をしていきたい。
16	情報発信 「学校長・学年長・担任等で教育活動発信」	94% (93%)	情報発信は高い評価を得ている。今後も学校便り、学年便り、学校ホームページ、情報配信システムの有効な活用をしていく。
17	相談への対応 「生徒・保護者からの連絡・相談に適切に対応」	88% (92%)	生徒や保護者からの相談には丁寧に対応している。今後も個や家庭に応じた相談に力を入れ生徒・保護者が実感できるような対応していきたい。
18	学校への参加 「必要に応じて行事に参加しやすい」	91% (93%)	行事等への保護者の参観は大変多い。土曜日授業公開、学校公開週間、保護者会等を魅力的なものにし、参加しやすい設定を工夫したい。
19	地域への参加 「学校行事等への参加促進」	86% (87%)	レスキュー部員を中心としたボランティア等の参加は定着してきた。さらに参加者が多くなるよう、積極的に促し、充実させていきたい。
20	意見の反映 「保護者等の意見を受け止める教育活動の改善」	92% (91%)	数年来、保護者・地域から前向きで肯定的なご意見をいただくことが多い。今後も細やかな対応をし、さらに充実した教育活動を展開したい。
21	基礎・基本の徹底 「基本事項・基礎事項の徹底を促す工夫」	90% (89%)	学習コンテストなどの取り組みが一定の評価を得ている。今後はさらなる基礎基本の定着を進められるよう工夫をしていく。
22	授業評価の活用 「授業改善に活用し教職員の工夫を促す」	88% (90%)	多くの生徒が授業改善に反映されていると感じている。保護者には代わりに「授業改善に活用し教職員の工夫を促す」。
23	進路指導の充実 「進路指導・進路選択の適切な指導」	89% (89%)	各学年のキャリア教育が定着しつつある。進学指導に偏ることなく、3年間の計画的な進路指導を実践し、さらに充実させたい。
24	地域学習 「地域を学び地域に貢献する生徒の育成」	89% (91%)	地域学習が定着し、学年が上がるほど地域に対する意識も高い。3年間を見通した計画も確立しており、今後さらに内容を充実させたい。
25	JRC活動 「社会活動・ボランティア活動等の充実」	92% (92%)	JRC活動に対する意識が高まってきている。ボランティア活動等も充実させてきている。レスキュー部の活動も定着し高い評価を得ている。

○昨年度より微減しているが、ほぼ全項目において、肯定率が70～90%前後の高い評価を受けた。

今年度ご協力をお願いいたしました学校関係者評価のまとめを掲載させていただきます。肯定%とは、生徒・保護者・教職員の方の「良くあってはまる」「だいたいあってはまる」の合計です。詳しいデータ等は本校ホームページにて公開しておりますので是非ご覧ください。

地域清掃

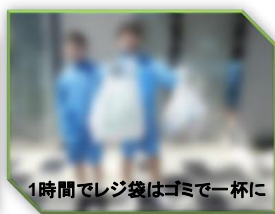
3月11日(土)、土曜授業公開日の3、4校時に、今年度2回目の地域清掃を行いました。はじめに、全校生徒が校庭に集まり出発式が行われました。注意事項などの説明につづいて、**JRC委員長の〇〇〇〇さん(2-3)**が「**日頃お世話になっている地域をきれいにして、地域も心もピカピカにしましょう**」と力強く挨拶しました。その後、鉄ばさみとゴミを入れるレジ袋を手に全校生徒とご参加いただいた保護者の皆さま、教職員総勢400名が南千住の街に一齐に繰り出しました。清掃活動はおよそ1時間。道路脇の植え込みの中や側溝のふたの間まで目を配り、隅々まで一生懸命に地域の美化活動に努めました。活動中には、**街で出会った方々から、「ごろうさま」「いつもきれいにしてくれて、ありがとうございます！」**などと声を掛けていただく場面も多く、さらに生徒たちのやる気もアップ。集合場所に皆レジ袋一杯のゴミを集めて戻ってきました。全校生徒が校庭に戻ってくると、大きなポリバケツはあっという間にあふれるほどになりました。その後JRC委員がゴミを分別して、作業に使った鉄ばさみや資源となる缶やペットボトルなどはきれいに洗って回収してもらいました。計画や準備から出発式の司会、最後の片付けまで行ったJRC委員の皆さん、ご苦労さまでした。そして、ご参加いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



ゴミ拾いに夢中になる1年生



地域をくまなくきれいに清掃



1時間でレジ袋はゴミで一杯に



資源ゴミはきれいに洗ってリサイクルへ

部活動などの活躍

《都展出品者》区展出品125作品の中から、特に優れた作品26点が選ばれ、都展に出品されました。

美術科

粘土で作った空き缶



点描画

観光ポスター



家庭科

ブックカバー
ミニチュアパーカー
カラフルボール

《実用英語技能検定》

準2級
3級
4級
5級 《第4回ジュニア防災検定》

防災自由研究優秀賞

家族防災特別賞

成績優秀賞



1年生 調べ学習



上:パワーポイント練習中
右:タブレットでまとめ

2月から総合の時間を利用して、1年生は「調べ学習」を行っています。テーマは生徒ひとりひとりが「好きなこと・興味があること」から思考を広げていき決めました。科学、歴史、地理などの分野はもちろん、好きなスポーツや美容・健康法まで多岐にわたっています。そのテーマについて図書館やインターネットを使って情報を集めて、選択し、自分なりの考えを持ってまとめています。また、将来の発表の機会に先駆けて、2月21日(火)には野口先生によるパワーポイントの使い方教室が行われ、これからタブレットを使った学習の幅がひとまわり広がりました。今回の調べ学習レポートは、新2年生の3階フロアに掲示予定です。学校公開日などにぜひご覧ください。

1年生 人形浄瑠璃

3月10日(金)、サンパール荒川大ホールを会場にして、**荒川区立中学校「人形浄瑠璃鑑賞教室」**が行われました。南千住二中は、午前の部に1年生が参加。日本の伝統芸能である人形浄瑠璃について人形、太夫、三味線などの役回りの解説を聞き、実際の舞台の一部を鑑賞しました。この日の演目は、「伊達娘恋緋鹿子」の最高の山場となる「火の見櫓の段」でした。3人の人形づかいの息のあった手さばきで、主人公お七の人形に命が宿り、一途な思いで火の見櫓を駆け上るお七の姿は圧巻で、1年生は誰もが舞台を真剣に見入りました。日本の伝統芸能の情感豊かな世界に触れた1日でした。



上:火の見櫓を上るお七
左:語りで劇を進める太夫と感情を音で表現する三味線

あらBOSAI



救急処置訓練

消火訓練

《あらBOSAI参加者》

3月4日(土)に、あらかわ遊園運動場にて、「あらBOSAI」が行われました。これは、防災について楽しく学び、子どもたちの防災意識を高めようというもので、**南千住二中からは、スーパーレスキュー部員を中心とした8人が参加**しました。当日は天気に恵まれ、多くの小学生とご家族が訪れ、消防署や警察署、自衛隊、ガス・水道・電気などのライフラインを担う企業も参加して盛大な催しとなりました。体験プログラムは、永久水利活用訓練や応急手当の仕方などの本格的な活動から、水消火器での当てゲーム、水害紙芝居、紙食器づくりなどの小さな子どもも楽しみながら体験できるものまでさまざま。**レスキュー部員は、ポンプによる放水の模範演技から、AEDの使い方、救急処置の仕方などの指導役まで色々な方面で大活躍。防災意識の向上に努めました。**



JBKジュニア防災検定®

レスキュー部では、「ジュニア防災検定」に挑戦し、全員が合格しました。

上級取得

中級取得

3年生 卒業までの日々

3月3日

5・6校時に、ヘルスプロモーション推進センターの医師 岩室紳也先生を講師にお招きして「**性教育講演会**」が行われました。岩室先生は長年に亘りエイズ患者などの治療に携わる一方、**若者に性に対する正しく安全な知識を身につける教育活動**に熱心に取り組まれています。今回は、若者に広がる文化を理解し、様々な場面での性感染症予防について具体的にお話をしてくださいました。ユーモアを交えた内容と生徒と対話しながら進行いただき、はじめは緊張気味だった生徒たちからも笑顔があふれるほどになりました。素直な気持ちになると、

普段なかなか得ることができない性のことや正しい知識があれば予防できる病気のことなども真剣に学び、考えることができました。岩室先生、ありがとうございました。

卒業おめでとう。

岩室先生の話術で性の話も楽しく学べました

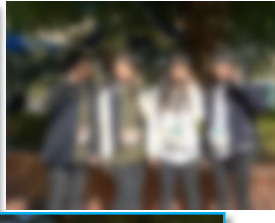
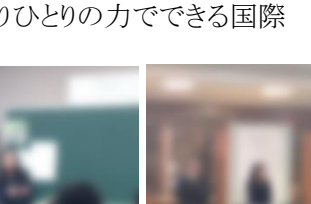
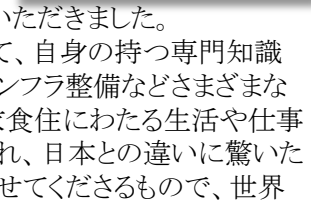
3月6日

5・6校時に、「**ようこそ青年海外協力隊**」が開かれました。この会は、青年海外協力隊員として実際に国際社会で活躍・貢献した皆さんをお招きしてお話を聞き、国際交流や異文化理解、国際協力について考え、理解しようとするものです。

この日は中華人民共和国の少数民族居住地で教育支援や衛生面の意識向上のための活動を行った **土屋 賢治さん**、スリランカの障がい者センターで職業訓練などの障がい者福祉活動に携わった **紙井 香織さん**、ラオスで助産婦として多くの母子の命と健康を見守った **高木 とも子さん**の3人の方にご来校いただきました。

3人とも青年海外協力隊(JICA)の一員として、自身の持つ専門知識を駆使し、発展途上の国々の教育・産業・インフラ整備などさまざまな分野で国際貢献をしてきました。現地での衣食住にわたる生活や仕事、風土を通して得た体験談は臨場感にあふれ、日本との違いに驚いたり、異文化を理解することの大切さを気づかせてくださるもので、世界の国々に関心をもつ機会になりました。ひとりひとりの力でできる国際協力を考えていきたいものです。

普段なかなか得ることができない性のことや正しい知識があれば予防できる病気のことなども真剣に学び、考えることができました。岩室先生、ありがとうございました。



3月9日

中学校生活最後の学年行事、東京ディズニーランドへの「**卒業遠足**」へ行きました。4月のクラス目標の中に、“みんなでディズニーランドへ行こう！”という言葉があったように、この1年を全員で受験勉強を乗り越え励まし合って、この日を笑顔で迎えることを誓って頑張ってきました。当日は3年生の心を写すような晴天。首都圏の中学校の卒業遠足が多い時期ということもあり、園内に入ると、アトラクションの前には、すでに長い行列ができていました。でも、夢の国で友だちと過ごす時間は楽しくてうれしくて、待ち時間もあっという間でした。それでもグループで平均4、5個のアトラクションに乗り、友だちとたくさんの思い出を作ることができました。

今回の遠足は、クラスを越えて3～十数人のグループを作り、出発から帰宅までの1日をそのグループで行動しました。朝の出発にはほとんどのグループが5分前には集まり、帰りの集合時間にも遅れるグループはありませんでした。**先のこと、周りの人のことを考えて行動できる皆さんはこの3年間で小さな大人から、たくましい人に成長していました。**

3月13日

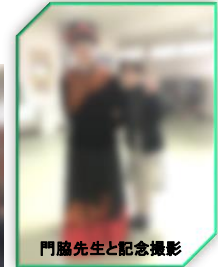
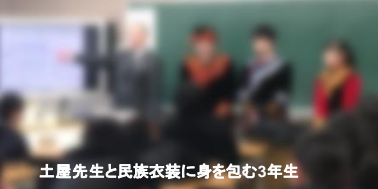
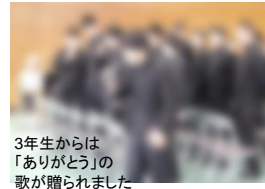
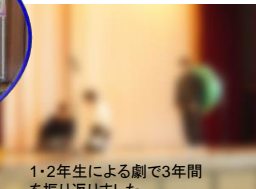
1校時に、1・2年生の生徒会本部と中央委員会が企画・運営する「**3年生を送る会**」が開かれました。会の進行は生徒会本部が務め、はじめに**1・2年生を代表して生徒会長**

〇〇〇〇さん(2-2)から3年生へ感謝の言葉が送られました。つづいて1・2年生劇では、3年生Sが3年間で心に残ったエピソードの数々が楽しく演じられました。そして、1・2年生全員によるいきものがかりの「**YELL**」

の合唱と1・2年生一人ひとりの感謝の言葉を記したメッセージボードが贈られました。

3年間ありがとう！

3年生からは、**学年委員長 〇〇〇〇くん(3-1)**から、「2年生は南二中のリーダーに、1年生は新一年生の手本となるよう頑張ってください」という励ましの言葉と、3年生全員による**FUNKY MONKEY BABYSの曲「ありがとう」の合唱**が贈られました。3月17日(金)には卒業式が行われます。この日のように全校で心をひとつにして、素晴らしい式になることを願っています。



土屋先生と民族衣装に身を包む3年生

紙井先生の話に興味津々

全体会にて、ご挨拶くださった高木先生

門脇先生と記念撮影

1,2年生によるメッセージボード

1・2年生による劇で3年間を振り返りました

1・2年生からは「エールが...

3年生からは「ありがとう」の歌が贈られました